

錦鯉のこと、

もっともっと知りたい！

Nishikigoi newsletter

vol.4

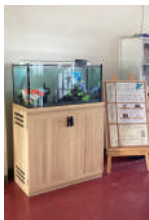
「錦鯉を身近に感じてもらうために」

◀ index ▶

1. ついに本格始動！錦鯉水槽設置プロジェクトは、第三校目となる「桃山小学校」へ
2. ここで見られる！錦鯉水槽
3. 『錦鯉・金魚アクアリウム in ときメッセ』が開催！
4. 第3回横鯉コンテスト開催
5. マーケティング視点でひも解く錦鯉の世界
6. もっと身近に錦鯉！

／ ついに本格始動！ ／

錦鯉水槽設置プロジェクトは、第三校目となる「桃山小学校」へ



6月上旬、たくさん子ども達が見守る中、桃山小学校（新潟市東区）への設置が完了いたしました。子ども達は、「錦鯉がきた～！」と元気に出迎えてくれ、準備段階から大盛況でした。

錦鯉を初めて見る子や、大きい錦鯉なら見たことある子など様々。

当日はTV局の取材もあり、錦鯉にも取材にも興味津々の様子でした！出前講座は夏休み明け、今後は新潟市内の小学校を約半年ごとに巡回設置していきます。

子ども達が水槽を囲んで話している様子



ここで見られる！
錦鯉水槽

新潟県の様々な場所で、錦鯉が水槽で泳ぐ姿を楽しむことができます。機会があれば、ぜひ足を運んでみてください！



朱鷺メッセ



Befco ばかうけ展望室



佐渡市役所

小千谷市から寄贈された錦鯉です！

きらりうむ佐渡



ホテルイタリア軒



新潟ふるさと村アピール館

新潟をまるごと体験できる道の駅



新潟ふるさと村バザール館

新潟初開催！
錦鯉・金魚アクアリウム
in ときメッセ

2025 8.1金
8.24日
会期中無休

開館時間 10:00～16:00
(最終入場は15:30まで)

朱鷺メッセ(展示ホールB)
新潟市中央区万代島6番1号

新潟初開催となるアクアリウムイベント！

錦鯉が主役ということで
当協会よりペア招待券を
2組様にプレゼント！

お申込みは右記QRの
フォームから→

抽選は発送をもってかえさせていただきます。

第3回
横鯉コンテスト開催！！

GW 期間、青森県の松田養鯉場様主催の「横鯉コンテスト」が開催され当協会も協賛させていただきました。

松田養鯉場 @matukoi0518 - 2025/05/12
cute賞

松田養鯉場 @matukoi0518 - 2025/05/12
第3回横鯉コンテスト
Champion

松田養鯉場 @matukoi0518 - 2025/05/12
協賛企業賞

水槽に泳ぐ鯉を横から撮影し写真に#横鯉コンテストとつけてX(旧Twitter)へupするコンテスト。

素敵な錦鯉たちがたくさん見えました。

マーケティング視点でひも解く錦鯉の世界

錦鯉の魅力をビジネスや経済の視点でお伝えします。



専務理事（長岡大学准教授）
百合岡 雅博

第二弾 観賞魚市場の動向と水槽で楽しむ錦鯉の可能性



観賞魚市場は、コロナ禍を契機に日本・北米・欧州の各地域で大きな変化を迎えました。日本では、2019年時点における観賞魚の飼育率は全世帯の数%にとどまり、金魚3.3%、熱帯魚1.6%、錦鯉やメダカなどはさらに少数でした。2020年以降、外出自粛によって家庭内での娯楽が求める人が増加するなか、観賞魚飼育に注目が集まりました。このときはメダカや熱帯魚の人気の高まり、ホームセンターでは観賞魚関連商品の売上が前年比7%増加しました。2022年以降は市場の勢いが落ち着きを見せましたが、新しいライフスタイルの中に観賞魚が定着し、安定した水準を維持しています。こうしたなか注目されているのが、「水槽で飼う錦鯉」というスタイルです。従来、錦鯉といえば屋外の池で飼うものというイメージでしたが、近年では増加した愛好家が新たに飼育する魚を求めるなか体長15cm前後の「ミニ錦鯉」を飼育する人が少しずつ増えてきました。60センチ程度の水槽で飼育する錦鯉は手軽ですが、インテリア性が高いので、小さな子どもや高齢者のいる家庭などではじめてのペットとして注目を集めています。

北米では、観賞魚市場はすでに確立されており、2019年には1,310万世帯が淡水魚や海水魚を飼育していたところ、コロナ禍を経てこの数は1,470万世帯にまで拡大しました。小型魚や「ナノ水槽」の人気に加え、錦鯉を室内水槽で楽しむスタイルも一部で浸透しつつあります。欧州では、2023年時点で約49%の世帯が何らかのペットを飼育しており、観賞魚はそのなかでも重要な存在です。屋外の池に加えて室内での水槽飼育も拡大しており、錦鯉を含む淡水魚の市場は年率6～8%の成長が見込まれています。とくに英国では、錦鯉への関心も再び高まっています。「水槽で飼う錦鯉」という選択肢は、国内外を問わず観賞魚の魅力を上げると同時に、日本の伝統的な魚をより身近な存在へと進化させる可能性を秘めています。



右記グラフ 情報元サイト：<https://pangovet.com/statistics/aquarium-industry-statistics/> 出所：「Europe Aquarium Market」『Market Research Future』

いつもはバックナンバーをご紹介しているコーナーですが、今回は特別に「月刊錦鯉様」の最新号からお届けします。

今回は最新号
2025年7月号！！

本誌P112～113より 第2回養鯉業インターンシップ

錦鯉と触れ合い後継者の育成へ

新潟県内の学生に錦鯉の魅力や養鯉業について知ってもらうことを目的に、長岡市と長岡市錦鯉養殖組合が共催する「養鯉業インターンシップ」が5月22日(木)、同市の山古志支所で開催された。

本インターンシップは昨年からスタートし、5月から9月にかけて全4日間の日程で実施される。初回となったこの日は、国際ペットワールド専門学校（新潟市）と、長岡農業高校（長岡市）の学生12名が参加した。午前中はオリエンテーションとして、同組合の田中誠理事長（㈱錦鯉新潟ダイレクト）による歓迎の挨拶から始まり、その後、錦鯉の歴史や文化、生産者の一年の仕事内容について座学が行われた。冬の間、越冬池で飼育されていた錦鯉を山古志の種苧原にある観光野池へ移すため、学生らは胴長を着用し暴れる錦鯉に手こずりながらも網やマルチネットを使って捕獲。



トラックで観光野池に運ばれた後、9月に実施される池上げ体験に向け、1匹ずつ丁寧に放流された。6月と7月中旬に予定されている次回以降のプログラムでは、実際に錦鯉の生産現場を体験するため、同組合に所属する養鯉場での養鯉体験が予定されている。長岡市農水産政策課水産係の荒木主任は、「年々、長岡市錦鯉養殖組合の組合員数が減少しているなかで、錦鯉発祥の地としてのブランドを守っていかなければいけない。養鯉業インターンシップを通じて、まずは錦鯉や養鯉業に興味を持ってもらい、その中から新たな担い手が生まれてほしい」と語った。



もつと身近に
錦鯉！

〔お問い合わせ先〕 TEL 025-282-7201
MAIL info@nishiki-goi-adviser.or.jp
新潟県新潟市東区空港西1丁目15番8号
(運営/株式会社アクアリゾート 担当/塚田)



NISHIKIGOI
AQUATIC MANAGEMENT ASSOCIATION